



北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月30日 ●事務所/ナシオビル ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス <http://www.kitamirc.jp>

第3207回例会・2018年 7月18日

本日のプログラム

ゲスト卓話
「オホーツクのイベントを支えて」

ボイス オブ オホーツク・SKY 林 嘉 様

2018～2019年度国際ロータリーテーマ

『インスピレーションになろう』

R.I. 会長 バリー・ラシン

第3206回例会(7月11日)の記録

司会 田巻親睦活動委員長
ロータリーソング 我等の生業
会長挨拶 坂井会長

冒頭ではございますが、西日本豪雨、北海道の河川の氾濫によって尊い命、それから甚大な被害が出ております。まだ避難されている方もございますので、皆さんと共に御見舞いを申し上げたいと思います。ただ嬉しい事に、タイの洞窟から全員が脱出したとの事でございますので、良かったと思っております。

さて、7月13日(金)はロータリーデーでございます。その中で市民の皆様、ロータリーが永年取り組んでおりますポリオ撲滅の為の募金をお願い致します。3クラブが各々の例会の中で会員皆様のご協力を頂く事になりました。つきましては後程募金箱を回しますので、ご協力をお願いしたいと思います。また皆様お気づきだと思いますが、本日より週報がカラーとなりました。各委員会が少しずつ新たな取り組みをして頂いております。出席報告も予告がありましたが楽しみにして頂ければと思います。少し良い話しですが、出席の事でございます。永田会員が29年出席皆勤でございます。これを受けてという事ではございませんが、この間新しく入会されたお二人を太布会員が西RCの方に早速メーキャップに連れていったという事でございます。多分このお二人は永田会員の29年を目指して出席をして頂ければと思います。

幹事報告 高野幹事

- 8月8日(水)に第2回クラブ協議会及びガバナー公式訪問夜間例会がホテル黒部で開催されます。
- 米山記念奨学会並びにロータリー財団のセミナーですが、7月22日(日)にグラントラス帯広で開催されます。
- 2017-2018年度ガバナー事務所より閉鎖の案内が来ております。
- ロータリーデーにつきまして、7月12日(木)の道新朝刊に会員名簿が掲載されます。
- 本日の例会終了後に理事・役員会を開催致します。

誕生記念 川村会員・藤田会員・駒形会員・佐藤(尚)会員
潮田会員・小林会員・帰山会員

結婚記念 田尾会員

入会記念 永田会員・松田会員・五十嵐会員・川村会員

桑原会員・太布会員・坂井会員・高野会員・船橋会員・長屋会員・佐藤(尚)会員・田尾会員・下元会員
森本会員・青山会員・小池会員・加藤会員・潮田会員・佐藤(哲)会員・金田会員・吉尾会員

ニコニコBOX

越膳会員～ガバナー補佐の役目が無事終わりました。皆様に感謝致します。

ポリオ募金報告 金田会計

皆様からご協力頂きましたポリオ募金ですが、総計39,522円という多くの浄財を頂きました。



プログラム

ゲスト卓話 「北見市におけるスポーツ合宿とまちの活性化」

北見市教育委員会 社会教育部長 佐々木 賢一 様



北見北斗高校ラグビー部が過去準優勝を4回もしているという事は皆さんご存知かと思いますが、その卒業生が明治大学ラグビー部へ進学し、そこで明治大学との繋がりが出来ました。当時の市のスポーツ担当者が名将と言われた北島監督の元へ出向いて熱心に説得し、昭和60年に初めて合宿が実現致しました。明治大学とスクラムを組みたいという事で他の大学も追従して参ります。時の市長が「スポーツピア構想」というのを掲げまして、拠点のモイワスポーツワールドを整備しております。今ではラグビーフェスティバルというのは市民と選手との交流の夏の風物詩となっております。一方で昭和48年から旧常呂町でSB食品の陸上競技部が合宿をしていました。瀬古利彦さんが早稲田大学の競争部に入って、早稲田大学も常呂町で合宿を開始致します。瀬古さんはその後SB食品に入社致します。瀬古さんが監督になって平成22年迄合宿は続きましたが、SB食品の廃部によって合宿は途切れております。平成19年からは「ホクレンディスタンス」という大会が北見で開かれるようになり、陸上の合宿に弾みが付いたところです。

次に合宿の実績ですが、昨年度は4,471名、日数を掛けた述べ人数でいきますと25,000人を超える実績があり、過去最高を更新しております。ラグビーを見てみると、昨年度はトップリーグ5チーム、その下のトップチャレンジが1チーム、大学が4チームとなっております。その他高校も来ております。近隣自治体のラグビー合宿の状況ですが、トップリーグ16チームの内13チームがオホーツク地域に集まっています。近隣の網走、美幌、津別と連携をして「オホーツクラグビーフェスティバル」という事で試合をマッチングしております。市町村の枠を超えて広域で合宿を推進するというのはこれからも求められると思います。

合宿を誘致するにあたっては器が必要になります。ラグビーは11面全芝グラウンドで保有しております。しかしこれらが分散しているので、散水や芝補修の維持管理が大変というデメリットはあります。体育館関係は上から17施設保有していて、これだけ持っている自治体は無いと思います。昭和50年代から各地域にトレセンを建ててきて市民スポーツの振興を図ってきた事が背景にあります。これに小中学校の体育館の開放事業も行っておりますので、合計46館が市民に使われている事になります。市民スポーツが盛んである措置が合宿にも結びついているのではないかと思います。その他に、野球場は13面、サッカー場はラグビー場とは別に9面確保されております。カーリングホールは、2つのカーリング場がありまして、オリンピック選手をこれまでに17名輩出しております。特に常呂カーリングホールは夏も使える通年型のホールであります。民間組織でカーリング支援推進委員会というのを組織しており、ジュニアや選手を育成する為の資金援助をしようという団体であります。

今後の展開として、従来から来て頂いているチームをまず大事にするという事が一つ、もう一点は国際大会事前合宿誘致に向けて新たに展開をするという事が一つ、この両面で取り組んで参りたいと思います。課題は、多様性、通年化と情報発信とされておりまして、種目を増やす事と集中する夏以外に広げるという事が課題と考えております。水泳、武道、スキー以外の冬期スポーツがカギとなると考えます。情報発信についてもYouTubeの情報コンテンツを作成した他、フェイスブックでも発信しております。合宿の里として33年間継続した取り組みを行って来ました。要請したからと言ってすぐに合宿が実現出来るものではなく、一つひとつの実績の積み上げが合宿という形に繋がるのではという風に感じております。体育施設整備は一定程度完成しておりますので、食や天候を含めた練習環境の良さをPRして、ソフト面における送迎支援、それから栄養補給の支援等のフォローアップを大切にして、北見の受け入れ態勢をアピールしていきたいと思っております。

今回のLS北見の活躍でも実感致しますけれども、スポーツの話題というのは暗いニュースの中でも人々を元気にして町を明るくします。町の活性化の為に、スポーツにより人と人との交流を拡大していきたいと考えております。

出席報告 潮田出席委員長

本日の運動:皆さんの肩は正しいか? 屈曲編

出席報告	例会日	会員総数	出席免除	総出席計算数	例会出席免除者	事前メークアップ	事後メークアップ	確定計算出席数	出席率
計 算 式		A	B	C	D	E	F	C+E+F	$\frac{C+E+F}{A-B+D} \times 100$
確定	6/20	55	7	37	3	7	0	44	88.235%
確定	6/27	55	7	39	3	0	4	43	84.314%
本日	7/11	58	7	43	5	0	-	43	76.786%

【次回7月25日】 「グループ談議【1】『いままで一番、幸せだった瞬間は、どんなことですか?』」

編集後記 不自由な生活をされている被災者の皆様にお見舞い申し上げます。個々でできる支援を考えましょう。(K.Y)

2018～2019年度 北見R.C.活動方針

ロータリーの輝きを人へ未来へ

クラブ例会とは

クラブ細則に定められた毎週1回の例会を定例の曜日、時間、会場で開催します。例会は週1回会員が親睦と交流を深める場であり、議論の場ではありません。